

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	市民健康課長 石黒知美	
健福-47	がん検診事業	☒ 自治事務	主管課	市民健康課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	4-(1) 健康福祉	施策の方針	4-(1)-②健康長寿社会の構築

1 事業の目的

対象	検診対象年齢に達した市民
意図	がん等の早期発見・治療のため。
効果	がん等の早期発見、早期治療により市民の健康維持に努めるとともに、医療費の抑制につなげる。

2 令和5年(2023年)度に実施した事業の概要

・大腸がん検診、肺がん検診(40歳以上)、胃がんリスク検診(40～49歳及び75歳以上)、胃がん内視鏡検診(50～74歳の偶数年齢)、乳がんマンモグラフィ検診(40歳以上の偶数年齢女性)、子宮頸がん検診(20歳以上の偶数年齢女性)、乳房健康指導(20歳～38歳の偶数年齢女性)、前立腺がん検診(50歳以上の男性)を実施した。	
・上記とは別に、20歳女性を対象に子宮頸がん検診、40歳の女性を対象に乳がんマンモグラフィ検診を、自己負担額なし(クーポン)で実施した。	
・子宮頸がんクーポン対象者のうち未受診者に対して、個別の受診勧奨を実施。	

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	がん検診事業	各がん検診を対象の年齢の市民に対し実施	受診率(%)	— / —	—	—	
				332,591 / 361,271	337,703		
02	がん検診推進事業 (無料クーポン券)	20歳及び40歳の女性に対し、がん検診を無料で実施	受診率(%)	— / —	—	—	
				/ 上記に含む			
03	乳がんマンモグラフィ 集団検診事業	対象の年齢の市民に対し実施	集団検診での受診率(%) (受診者数/上限300人)	47.3% / 90.0%	90.0%	90.0%	52.6%
				2,340 / 3,177	3,648		
04	口腔がん検診助成事業	鎌倉市歯科医師会が市民に対して年に一度、無料で検診を実施することに対し、補助した。	—	— / —	—	—	
				187 / 500	500		
05	一般事務経費	消耗品費、印刷製本費、手数料	—	— / —	—	—	
				2,862 / 3,355	4,947		
		財源内訳	国県支出金	53 / 94	83		
			地方債	/			
			その他特定財源	1,419 / 1,530	1,618		
			一般財源	336,508 / 366,679	345,097		
			事業費の合計(千円)	337,980 / 368,303	346,798		
			人件費(千円)	26,388		27,438	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	3.1	1.7	3.6	3.0	3.1	
会計年度任用職員	2.0	1.5	2.0	2.5	2.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	がん検診事業	胃がん内視鏡検診以外は目標値を達成できていない状況が続いている。	各がん検診の受診機会を確保し、受診を勧奨することで、健康長寿社会の構築に付与した。	対象者への勧奨もある程度行き届いたため、受診率向上に向けた他の取組を検討する必要がある。
02	がん検診推進事業（無料クーポン券）	特に子宮頸がん検診について、受診率が低い状況である。20歳という年齢では検診への関心が低い可能性がある。	20歳と40歳の女性に、それぞれ子宮頸がん検診及び乳がんマンモグラフィ検診の受診機会を用意することで、がんの早期発見等を啓発し、健康長寿社会の構築に付与した。	20歳女性を対象とした無料クーポン券検診事業の受診率が低いため、再勧奨はがきを発送したところ、受診率は3.9%から7.6%に向上した。引き続き、勧奨の取組を行っていく。
03	乳がんマンモグラフィ集団検診事業	令和5年度は、全3回ある集団検診のうち、第1回目が4割、第2回目、3回目が5割しか埋まらなかった。周知に課題があることが考えられる。	がん検診を日曜日にも受けられる機会を確保し、受診を勧奨することで、健康長寿社会の構築に付与した。	広報、ホームページ、SNS等で積極的に周知を図っていく。
04	口腔がん検診助成事業	鎌倉市歯科医師会が実施する集団検診に対する助成であり、稀少がんである口腔がんへの意識啓発を目的に行うものであるため、指標は設定しない。	市民の関心が薄い口腔がんについて普及啓発することで、健康長寿社会の構築に付与した。	—
05	一般事務経費	消耗品等事務経費であり、指標設定して評価することは、事業の性質に馴染まないため、設定しない。	がん検診事業を適法に実施するための事業を行っており、妥当。	—

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	2 事業費の削減が検討できる事業がある	
	事業の外部化（民営化・業務委託等）はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段（最小事業）である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
結果通知について、乳がんマンモグラフィ検診に加えて、結果が出る時期が遅い肺がん検診、胃がん内視鏡検診も郵送とすることにより、受診者が複数回実施医療機関を訪れる負担を軽減するとともに、医療機関側の負担軽減も図り、経費削減にもつなげる。また、受診率向上のため、個別通知の内容を見直すとともに、一部検診の自己負担金の軽減を図る。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	大腸がん検診受診率（受診率:受診者数/国のがん検診対象者数）						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
国が示す50%を基準に、受診率向上を目指すため。（令和5年度に国の目標が60%に変更されたが、目標値は変更せず）	目標値		42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	
	実績値	26.8	29.2	29.2	28.3			
	達成率		69.5%	66.4%	61.5%			

指標(単位)	肺がん検診受診率（受診率:受診者数/国のがん検診対象者数）						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
国が示す50%を基準に、受診率向上を目指すため。（令和5年度に国の目標が60%に変更されたが、目標値は変更せず）	目標値		42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	
	実績値	29.7	32.8	32.9	31.9			
	達成率		78.1%	74.8%	69.3%			

指標(単位)	胃がん内視鏡検診受診率（受診率:受診者数/国のがん検診対象者数）						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
受診率向上に努めるため。	目標値		10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	
	実績値	4.2	10.8	10.8	14.1			
	達成率		108.0%	108.0%	141.0%			

指標(単位)	子宮頸がん検診受診率（受診率:受診者数/国のがん検診対象者数）						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
国が示す50%を基準に、受診率向上を目指すため。（令和5年度に国の目標が60%に変更されたが、目標値は変更せず）	目標値		42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	
	実績値	19.4	19.6	20.2	19.7			
	達成率		46.7%	45.9%	42.8%			

指標(単位)	乳がんマンモグラフィ検診受診率（受診率:受診者数/国のがん検診対象者数）						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
国が示す50%を基準に、受診率向上を目指すため。（令和5年度に国の目標が60%に変更されたが、目標値は変更せず）	目標値		42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	
	実績値	23.4	26.1	22.3	23.5			
	達成率		62.1%	50.7%	51.1%			

指標(単位)	乳がん集団検診での受診率(受診者数/上限300人)						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
集団検診は1回あたり100人が上限で、そのうち受診した人の割合が、本事業の実績として経年で比較しやすいため。	目標値		90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
	実績値	90.5	80.3	55.7	47.3			
	達成率		89.3%	61.9%	52.6%			

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	上段:令和元年度大腸がん検診受診率(令和4年度神奈川県調査)、下段:県内市町村順位、第2指標による算出(※1)							
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	秦野市	厚木市	大和市
他市実績	7.7%	3.4%	7.2%	5.7%	6.9%	6.1%	5.4%	6.0%
	4位	28位	5位	14位	6位	11位	17位	12位

比較事項	上段:令和元年度肺がん検診受診率(令和4年度神奈川県調査)、下段:県内市町村順位、第2指標による算出(※1)							
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	秦野市	厚木市	大和市
他市実績	7.8%	5.5%	7.8%	6.1%	6.9%	5.2%	5.9%	5.8%
	3位	16位	3位	10位	6位	18位	11位	13位

比較事項	上段:令和元年度子宮頸がん検診受診率(令和4年度神奈川県調査)、下段:県内市町村順位、第2指標による算出(※1)							
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	秦野市	厚木市	大和市
他市実績	11.8%	14.0%	17.6%	13.0%	9.3%	10.6%	14.4%	19.3%
	21位	12位	4位	18位	27位	24位	11位	2位

比較事項	上段:令和元年度乳がん検診受診率(令和4年度神奈川県調査)、下段:県内市町村順位、第2指標による算出(※1)							
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	秦野市	厚木市	大和市
他市実績	16.1%	7.4%	17.3%	9.0%	9.6%	16.5%	13.9%	19.2%
	8位	31位	5位	24位	21位	7位	11位	3位

※1 指定都市、中核市、町村を除く15市中の順位。第2指標(受診者数/市町村住民全体。県ホームページから。)

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	他市と比較して各がん検診においての受診率は高い方であるが、目標値には達していないため、今後も受診率向上に向けて周知を図っていく。子宮頸がん検診の受診率が他市に比して低いので、受診率向上を図る。
--------------------------	--